

近畿学校保健学会通信

№. 5

昭和40年3月25日発行
第12回近畿学校保健学会事務局
神戸市東灘区住吉町赤塚山
神戸大学教育学部教育衛生学教室
TEL 神戸(85)4071
振替 神戸 2396

第12回近畿学校保健学会御案内

第12回近畿学校保健学会長 佐 守 信 男

「とくに教育と関連した学校保健」が、本学会の主題であります。何故、これを主題にしたかについての理由とそのねらいについては、すでに、前号で、述べさせていただきました。去る2月に開催されました第3回幹事会におきまして、数多い企画案のうちから、とくにこの主題が生かされる一案が、お蔭さまで採択されました。この企画案にしたがつて、下記のように、本学会の御案内を申し上げます。

この案は、学会の企画としては、あるいは、型破りのものであるかもしれませんが、午前中の一般演説は、近畿地区の代表的な学校保健の研究者6人の方々に、座長をお願いし、この主題にそつたそれぞれのお考えによつて自由に御指導していただくという案であります。学会に指導者のおかれまことは、元来、学会というものは、全会員が平等の立場で発表し討議が行なわれるべきものであると考えております私にとつては、必ずしも好ましいありかたとは思つておりません。しかし、この主題は、ひとそれぞれによつて考え方が違うようでありますので、この際、代表者の方々に、日頃御研究の蘊蓄で、一般演説を、一度、御指導願いたく、敢えて御無理をお願いしたわけであります。その代り、午後のシンポジウムでは、午前中の一般会員の御発表ならびに御指導のなかからの問題点を中心として、6人の指導者と一般会員が、ともに、全く平等の立場で、この「とくに教育と関連した学校保健」をどう考えればよいかということについて、シンポジウムしていただこうと考えております。このシンポジウムの話題は、すでに、午前中に生まれるのでありますから、このシンポジウムの2時間は、最初から終始、討議になるはずであります。

この企画が成功致しますと、午前午後にかけて、一般会員からの一般演説が素材になつて、本学会の主題が、近畿地区の代表的な研究者とともに、シンポジウムされてゆき、「学校保健が教育そのものである」ということが、ときには、うたい文句として流れ、また、私たちにと

つて群盲衆象であつた、その象の全貌をつかめることが期待されます。そこまではゆかなくとも、この主題の具体的な問題点の幾つかが、私たち自身の手で確認できればと考えております。とはいうものの、この企画の運営のむずかしさは、充分承知しております。不成功の場合の責任は、もちろん会長である私にあります。そして、これが成功するというのは、以上のしくみからもわかつていただけますように、学会員皆さんの積極的な御協力に負うところであります。

「とくに教育と関連した学校保健」が成立するかしないかということは、前号で述べましたように、これからの学校保健の進展が約束できるかどうかということにつながっております。「人命尊重」の理念が教育の場にはつきりと位置づけられるかどうかということにつながっております。緑濃き6月の六甲の山ふところで開催される本学会に、皆さんのおこしを、心からお待ちしている所以であります。

(なお、一般演説の指導者は、出席者の皆さんに選んでいただくことを原則としておりますので、6人の代表者の、この主題にそつた指導原理ならびに応募演説に対する要望事項を、御多忙中にもかかわらず、お書き願いました。代表者の方々に感謝するとともに、御案内要記の次に、これらを、載せさせていただきます。御参考にしていただければと存じます。)

第12回近畿学校保健学会御案内要記

I 期日 昭和40年6月13日(日) 午前9時—午後4時30分

II 会場 神戸市灘区一王山町 神戸大学 教養部

III 演題申込規定

1. 演題申込資格

学校保健関係者で学会費(評議員1名につき500円、一般会員1名につき200円)を納めたものに限る。学会費には会場費、抄録集代その他を含む。学会費は学会当日払い込まれても結構です。

演題申込みと同時に送金される方には学会前に抄録集を送付できる予定。

2. 演題申込方法

別紙の申込書に所要事項を記入し、800字以内(原稿用紙横書)の演説要旨を添えて申込むこと。

連名の場合は演説者に○印を付けること。

誌上発表を希望される方はその旨を演説要旨に朱書すること。

希望する座長に○印を付けること(但し、その希望は尊重しますが、座長の決定は会長に一任していただきたい)。

3. 申込先

神戸市東灘区住吉町赤塚山

神戸大学教育学部 教育衛生学教室 内

第12回近畿学校保健学会 事務局

4. 締切期日

昭和40年5月5日 必着

IV 演説上の注意 その他

1. 一般演説の発表時間は8分間

2. 図表はなるべくライカ版(35mm)のスライド(なるべく陽画)を用いること。掛図の設備はありませんから、スライドを御使用になれない場合は必要資料500部を6月10日までに事務局までお送り下さい。抄録集に添えて会員に配布する予定。

V 企画の概要

1. 一般演説 (午前9時10分—12時)

下記の近畿地区の代表的な学校保健研究者6人に座長をしていただき、それぞれの座長の「とくに教育と関連した学校保健」についてのお考えによつて、分担していただく一般演説を指導していただく。一般演説申込者は指導を受けようとする座長を指定するのを原則とする。

座長 (アイウエオ順)

大阪学芸大学 教授	伊 東 祐 一
京都大学 教授	川 畑 愛 義
大阪学芸大学 教授	榑 原 栄 一
芦屋大学 教授	竹 村 一
天理大学 教授	永 井 盛太郎
常盤会女子短大 教授	富 士 貞 吉

2. 総 会 (午後1時—1時30分)

3. 特別講演 (午後1時30分—2時30分)

教育衛生学の構築

—— 健康を教育の目的として設定できるか ——

神戸大学 教授 佐 守 信 男

4. シンポジウム(午後2時30分—4時30分)

「とくに教育と関連した学校保健」

一般演説の座長を中心にして、午前中の一般演説からでた共通問題から重要と思われる小議題を二、三選び、それらの小議題によつて主題を

討論する。司会は会長が当たる。

なお、評議員会は、一般演説終了後、開催の予定。

VI 会員懇親会

国立公園 六甲山上よりの百万弗夜景を觀賞しながら懇親会を行ないますので
会員の皆さんの奮つて参加されることを願います。

1. 日 時 学会当日 出発 学会終了後午後5時の予定
解散 神戸三宮駅前午後8時の予定
2. コース 学会場前 → 六甲山上 → 神戸三宮駅前
六甲山上(六甲山ホテル)にて懇親会(立食形式を予定)を行なう。行動は
すべて観光バスを使用。
3. 参加費 1名当り1,200円(予算の関係上先着180名に限る)
4. 申 込 昭和40年5月15日までに申込むこと。但し定員未満の時は当
日も受付ける。

VII 学会抄録集の予約

出題者提出の演説要旨ならびに特別講演要旨を集録して学会前に刊行する。
学会当日参加されない方にも予約を受付けます。但し印刷部数の関係上、
5月15日までに学会事務局あて学会費200円を添えて申込まれたい。

Ⅷ 送金方法

振替用紙の送金内訳欄に所要の事項を記入して学会事務局(振替口座 神戸
2396番 加入者名 第12回近畿学校保健学会事務局)あてに送金して
下さい。為替や現金書留による送金はなるべく避けて下さい。

座 長 意 図 表 明 (アイウエオ順)

1. 伊 東 祐 一 (大阪学芸大学 教授)

2. 川 畑 愛 義 (京都大学 教授)

このたびの学会では「とくに教育と関連した学校保健」という副題がついていること
になつている。その実、わたくしは、まだこれの真の意義をわきまえていないようであ
る……。などといえ、わたくしのかねてから尊敬している佐守会長からお目だ
まをちようだいするばかりでなく、会員のみなさまからもお叱りを受けること必定であ
らう。こんなあやふやなことで進行係りの椅子を汚すことは全く心外の至りで、何とも
いえない重荷を背負つているようでない。わたくしとしては会員みなさまの指導理
念を展開される場のお世話が無事つとまるかどうかひたすら頭痛の種である。

平たくいえば、学校保健は広い意味の学校教育のなかの一環であり、同時にまた公衆衛生ないし個人保健の一領域をなすものといえよう。しかしその内容を分類的にみれば、比較的公衆保健的な色彩の強い環境衛生、伝染病予防、飲食物および栄養などのようなものと、比較的教育的色彩の濃厚な健康教育、要養護者の指導、体育運動、精神衛生などのようなカテゴリーも考えられる。しかもこのような一応の分類は試みてはみたものの、とてもそれほど簡単に割切れるすじあいのものではなさそうである。学校安全にしても施設の改善、取締り法規の整備、安全教育の徹底などの三面が考えられるが、これらをこのたびは主として学校教育という立場に重点をおいて考えようというのであろうか。もしそういう理解が許されるとすれば、その意義と価値はかなり高いものと諒承されるであろう。いずれにしてもわたくしは会長の佐守先生や会員一同から会議の始まるまでに、この指導原理について御指導を仰ぎたいと切望している。

3. 柳 原 榮 一 (大阪学芸大学 教授)

私は「子供の性格形成過程の問題点について」を提起する。

頭のよい、そして性格の優れた子供に育成したいと希望するのは世の親の常であり、この手助けをするのが教育者である。子供の性格は8〜10歳の頃で方向付が完了するということは多くの人々の指摘するところである。

性格形成と非常に関係の深い自律神経緊張傾向がこの年齢を境として交感神経緊張傾向より副交感神経緊張傾向に移行する時期でもある。従つてよい性格を形成し、健康な国民の育成をお手伝いする教師はこの間の事情を科学的に修得しなければ教師として不充分であるばかりでなく、子供の将来をだいなしにしてしまう恐れがあると考えている。

そこでこの種の問題に関して、心身両面から探究した内容の演題の出ることを切望する。

4. 竹 村 一 (芦屋大学 教授)

学校衛生学の研究業績を教育としての学校社会のこどもと教師との健康生活に活用されることが学校保健という教育行動である。そのためには保健管理も保健教育も単なる管理、単なる教科としての保健教育などという狭い見地のみで立たないで、広い立場に立つて考えたい。心身共に健康な生活は教育の基本課題である。かかる私見から一般演題への要望としては、教育現場における問題をつかんでこれを科学的に研究するのは学であり、その結果の発表は学会としての使命であらう。それゆえ私は広く日本の四課程の現場における諸問題に対する保健的研究、その課程と関連する健康教育の見地に立つての現場の発言を望む次第である。なお人間形成の基礎づけとしての幼児教育における健康教育は、現在の指導要領六領域中の根本的な問題であるからこの方面における問題点、研究課題の学的発表も望ましい。健康生活の基礎づけの重要性を幼児期から低学年児童期の教育に置くべきだということは学者の一致した意見である。

5. 永 井 豊太郎 (天理大学 教授)

(指導原理) 待望の「学校環境衛生の基準」についての答申書が文部大臣に提出されました。現在不十分な設備はこれを根拠として拡充される機会が与えられるものと信じます。又必要あらば検査法を一にして多数の現場において得られた生々しいデータに

よって「基準」に更に検討が加えられるものと確信します。なお一方いわゆる「掟」はあくまでも良識ある人々による適切な運用こそが重要であります。更に教育としても理想と現実とを合わせ学習せしめることが必要であり、あまり現実ばなれした理想像に終始するのも愚かでありますが、一方現実にとらわれ過ぎて目標を失うことがあつてはならないと思います。

(要望事項) 保健管理に当つておられる方々はその現場の実状をたずさえ、保健教育にたずさわつておられる方々はその理想像について、あるいは学習成果について御意見を御持寄り下さい。30年間行政に密着した研究を行つてきており教育にもたずさわつていられる私が皆様方に御協力させて頂くことが出来ますならば幸だと思います。飲み水、学校給食、水泳プールの管理など水、食品に関する事項を特に歓迎します。本答申書の提出によつてその飛躍が期待される学校薬剤師諸兄の御活躍をお待ちしております。

6. 富士 貞吉 (常盤会女子短大 教授)

指導課題は「児童・生徒らの心身の健康と環境の温熱条件との関係」である。

指導原理。教育の指導要領の健康教育の目的には児童・生徒に正しく健康の価値を認識し、健康で安全な生活を営むことのできる能力を養成し、日常生活において習慣化するよう学習・指導・訓練するようにと示されてある。われわれの人体はいうまでもなく、空気の中で生存し、人と人との集団の中で種々な業態で生活を営んでいる。生徒にしても例外ではない。このような環境条件は千差万別であつて、ときには健康のみならず生命をさえ脅かすことも少なくない。それゆゑ、それらの条件と健康との関係について科学的な関連を研究、解明して、その知識を正しく学習、認識させることが、かれら自身が積極的に健康確保に努め、また社会全体の健康確保、増進をするための鍵である。

そこで、私が選んだ環境の温熱条件は太陽系の運行に起因する気象の変化に対する恒体温維持対策という人命存続の根本命題であるから、これについて、とくと話し合い、その重要性を把握して、正しい知識を学習させてもらいたいと思うから、これに関連する問題を多く提起していただくことを希望する。

幹 事 会 議 事 録 抄

第3回幹事会 昭和40年2月20日(土) 於神戸大学教育学部会議室

1. 学会企画について

前記の第12回近畿学校保健学会御案内要記の通りの企画が決定し、これに伴う座長の選出が行なわれ、下記の通り決定した(アイウエオ順・敬称略)

伊東祐一・川畑愛義・榎原栄一・竹村 一・永井豊太郎・富士貞吉

なお、シンポジウムの司会は会長が行なうことになった。

2. 名誉会員について

名誉会員の推挙については、竹村 一、豊田順爾、富士貞吉、三浦運一、伊賀政雄、西起三郎の六氏が推薦された。

3. 予算について

予算総額 316,161円の事務局原案通り了承された。

なお、寄附金その他の収入面で全幹事の御協力をいただくことになった。

第4回幹事会

昭和40年4月17日(土)午後2時より神戸大学教育学部会議室に於いて開催の予定

- 議題 1) 予算執行状況について
2) 評議員会の議題について
3) その他